

10月29日

テーマ：「イエスさまの^{さいばん}裁判」

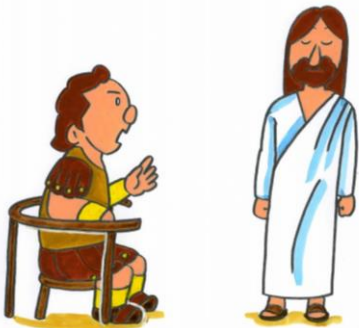
聖書箇所：ルカの福音書^{ふくいんしょ}23章^{しょう}13節^{せつ}～25節^{せつ}

◆今日のみことば

あなたがたは、この人^{ひと}を、民衆^{みんしゅう}を惑^{まど}わす者^{もの}として、私のところに連れて来たけれども、私があなたがたの前^{まえ}で取り調べ^{しら}べたところ、あなたがたが訴^{うった}えているような罪^{つみ}は別に何も^{なに}見^みつかりません。ルカの福音書23章14節

◆メッセージ

イエスさまが捕^{つか}まえられた後^{のち}、イエスさまはすぐに裁判^{さいばん}にかけられました。イエスさまを悪^{わる}く思^{おも}っている人^{ひと}たちは、この裁判^{さいばん}でイエスさまを十字架^{じゅうじか}につけて死刑^{しけい}にしようとしていました。ところが、裁判^{さいばん}するピラトは、イエスさまに何^{なん}の悪^{わる}いところも見^みつけることができずして、ピラトはローマ皇帝^{こうてい}から遣^{つか}わされていた支配^{しはいしき}者^{もの}でした。イエスさまはまことの神^{かみ}さまですから、悪^{わる}いところ^{ひと}は一つもないのは当たり前^あのことです。しかし、イエスさまを悪^{わる}く思^{おも}っている人^{ひと}たちは、それでもイエスさまを十字架^{じゅうじか}につけようとしてピラトに死刑^{しけい}を求め^{もと}続けました。そこでピラトもイエスさまを十字架^{じゅうじか}につけようとする人^{ひと}たちの声^{こえ}を無視^{むし}できなくなり、ついにイエスさまを死刑^{しけい}にすることにしました。



この裁判^{さいばん}は明^{あき}らかに不当^{ふとう}な裁判^{さいばん}でしたが、イエスさまはその裁判^{さいばん}に黙^{だま}って従^{したが}いました。イエスさまは不当^{ふとう}な裁判^{さいばん}に対抗^{たいこう}して、自分^{じぶん}も人^{ひと}のことを悪^{わる}く言^いったり、復讐^{ふくしゅう}しようとはしませんでした。イエスさまはすべてを父^{ちち}なる神^{かみ}さまにお任^{まか}せし、黙^{だま}って十字架^{じゅうじか}を受け取^うってくださったのです。それは、イエスさまの十字架^{じゅうじか}の死^しには特別^{とくべつ}な意味^いみがあったからです。イエスさまは私たち^みの身代^{みが}わりが必要^{ひつよう}だったからです。私たち^みに、どう生^いきたらいいかの模範^{もはん}をのこしてくださいました。

私たち^{ひと}も人^{ひと}から悪口^{わるくち}を言^いわれたり、いじわるをされることがあります。そんな時^{とき}、言^いり返^{かえ}してやろう、やり返^{かえ}してやろうと思^{おも}うこともあります。でも、そんな時^{とき}には、イエスさまを思^{おも}い出^だしましょう。イエスさまに祈^{いの}りましょう。イエスさまが私たち^{おし}のするべきことを教^{おし}えてくださいます。

※ もっとよく知りたい人のための聖書箇所 1ペテロ2：22～24
ローマ12：17、21



◆お祈り

「だれかに悪口^{わるくち}を言^いわれたり、いじわるされたときに、イエスさまを思^{おも}い出^だすことができますように。イエスさまが私の罪^{つみ}の身代^{みが}わりになって、十字架^{じゅうじか}にかかってくださり本^{ほん}当^{とう}にありがとうございます。」

(藤枝中央キリスト教会牧師 園信吾)